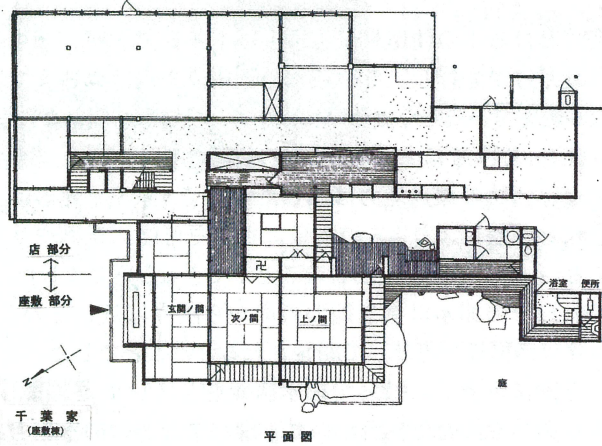


古民家めぐり見学会

私は、平成20年から中国新聞文化センターの「古民家めぐり講座」（講師は加藤早苗先生）に通っており、これまでに16件の古民家を巡りました。

昨年11月20日、古民家めぐり「千葉家住宅見学会」に参加しました。当日は、加藤先生と「海田町ふるさと館」の青木義和さんから説明を受けました。



千葉家は、大名の参勤交代の際の海田市の宿泊場所の本陣や脇本陣の近くに位置し、幕府や藩の書状や荷物を次の本陣まで、人馬により中継・運搬すること（天下送りや宿送り）を生業としていました。また、九州の大名の家来等の宿舎としても多く使用されました。

北側の西国街道から門をくぐると正面に玄関があり、建築当時あった敷台（籠を置く場所）は明治期に改造され、現在は無くなっています。座敷部分の間取りは、北側から玄関ノ間、次ノ間、上ノ間へと続き、南側の庭園（県名勝）の東側に沿って縁側、廊下で浴室、便所へと配置されています。店部分は同一棟で座敷部分の東側にありますが、見学はできませんでした。

東広島支部 高尾 康明

玄関には衝立と獅子頭が飾ってあり、次の間には天下送りの箱や外套が展示されていました。上の間は数奇屋風の造りで、南と西の障子を開放すると庭園と一体となって、来客者に安らぎを与える造りになっています。



出書院上部には黒柿の落掛や鳴居と欄間、そして因幡の白兔の物語を連想する彫りものが影絵のように見えました。鶴や龍の欄間も素晴らしいものでした。浴室に床と掛け軸があるのは、大変珍しいものだそうです。



千葉家住宅は、平成23年7月に所有者の千葉諭吉さん（広島市南区在住）が海田町に寄贈され、海田町の教育委員会で管理されており、見学するには事前の申し込みが必要となっています。個人が古民家を維持することは、現代生活を送る上での不便さや経済的な限界もあり、居住し続けることは稀で、多くは別の敷地に居住されています。文化財の指定を受ける建物は限られており、存在感のある建物が取り壊されることは大変残念です。町並み保存と同様に外観を保存し、内部を現代風に改造や補強することも、選択肢の1つとして検討したいものです。

●海田町ふるさと館 安芸郡海田町畝2丁目10番20号
TEL (082) 823-9396



建築用途／商家
所在地／安芸郡海田町中店8-31
構造／木造平屋建て入母屋造り
棟瓦葺
建築年代／江戸時代中期
家屋：県重要文化財
庭園：県名勝



表紙写真について

広寂寺山門外建築工事

- 設計監理／有限会社 元廣建築設計事務所
- 施 工／鹿島建設株式会社 中国支社
広島建築工事事務所
- 所 在 地／広島市南区稲荷町
- 工事範囲／山門工事
合同墓工事
休憩所工事
竹垣工事および庭門工事
外構整備工事
- 竣 工／2012年4月

終戦後 67 年が経過した今、その記憶が忘れられていくのではないかと思われる今日ですが、街並みの中に四脚門の木造山門の姿を呼び起こすことができました。
広島市内の防火地域とあって、木造の建物は今見ることが少なくなりましたが、塀の瓦を含めかつての面影が、親鸞聖人 750 回大遠忌の年によみがえりました。



防火地域での伝統建築物の再現という課題もあり、在来の伝統的建築の様式・寸法・型式にこだわり、木造による軒裏防火構造としました。彫刻、瓦の焼き方・産地、木材、石に至るまで厳選し、それを形として、門信徒の方々や街を行き交う人々に安らぎを感じてもらえる、特色のある設計となっています。



安全で安心な住まいづくりをサポートします。

> 事業内容 ① ② ③ ④

フラット35適合証明業務

住宅金融支援機構と提携した金融機関の「長期固定金利」による住宅の取得を支援するため、新築住宅及び中古住宅の適合証明業務を行います。

- 通常**…住宅金融支援機構が定めた技術基準に適合しているか検査を行います。
- 優良**…バリアフリー性能、耐久性能等が一定レベル以上の住宅には金利の引下げが受けられます。
- 中古**…中古住宅（一戸建て・マンション等）の技術基準に適合しているか検査を行います。
- 賃貸**…賃貸住宅（ファミリー対応・高齢者対応）の技術基準に適合しているか検査を行います。



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター
本社／〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10 TEL (082)228-2220 FAX (082)228-2231
営業所／〒720-0034 福山市若松町8-22 TEL (084)928-3979 FAX (084)928-3974
www.hkjc.co.jp

株式会社

ティーエス ◆ ハマモト

一級建築士事務所

ISO9001 認証取得

大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工



〒731-0135 広島市安佐南区長束 4 丁目 16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

県からのお知らせ

建築確認手続きにおける建築士免許登録の有無確認等について

平成 24 年 12 月 3 日付国住指第 3329 号で、国土交通省住宅局建築指導課長から技術的助言がありました。平成 25 年 1 月から建築主事及び指定確認検査機関において、建築確認手続きの中で（確認申請書、完了検査申請書又は中間検査申請書が提出された際に）確認申請書等に記載された建築士等について、免許登録の有無及び定期講習の受講状況を確認する

こととなりました。建築主事や検査機関によっては申請者に対し、確認申請書等に記載された建築士等について建築士免許証及び定期講習終了証の原本の提示を求め、内容を確認する場合があります。ご協力をお願いします。
広島県土木局建築課 担当：建築士グループ
電話：082-513-4184

低炭素建築物の認定制度について

「都市の低炭素化の促進に関する法律」（平成24年法律第 84 号）が施行され、「低炭素建築物」の認定制度が創設されました。
●認定制度の概要
建築物の新築、増築、改築、修繕もしくは模様替え、空気調和設備等の設置について、都市の低炭素化に資する措置がとられ、所管行政庁の認定を受けることにより、容積率の特例や税制優遇が受けられる制度です。

●認定の対象
市街化区域または用途地域の指定区域内の 1 戸建ての住宅や、共同住宅等の住宅及び店舗や事務所等の非住宅など、全ての建築物が対象になります。
●制度の内容
この制度の詳細は、県のホームページ「低炭素建築物の認定制度について」をご覧ください。
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/107/teitanso.html>

CPD認定プログラム（2月～4月の広島県内実施分）

1 月 15 日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
2／7	足場の組み立て等作業主任者技能講習 in 福山 第 4 回 2 日目	6	建災防広島県支部	082-228-8250
2／8	平成 24 年度 「建築物の一次エネルギー消費量算定講習会」	5	建築環境・省エネルギー機構	03-3222-6989
2／8	技術セミナー（広島）	3	空気調和・衛生工学会	03-3363-8261
2／9	景観シンポジウム「歴史・文化を生かした都市景観」	3	広島市都市整備局	082-504-2277
2／10	海友舎（旧下士官兵集会所）見学会	2	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
2／13	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 in 福山 1 日目	7	建災防広島県支部	082-228-8250
2／14	型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 in 福山 2 日目	6	建災防広島県支部	082-228-8250
2／16	広島のこれからの地域型木造住宅	3	広島県建築士会	082-244-6830
2／16	わかりやすい省エネ法～申請のポイント	2	広島県建築士会福山支部	084-923-4820
2／18	職長・安全衛生責任者教育 in 福山 第 4 回 1 日目	7	建災防広島県支部	082-228-8250
2／19	職長・安全衛生責任者教育 in 福山 第 4 回 2 日目	7	建災防広島県支部	082-228-8250
2／19	次世代建築素材とこれからのトレンド	2	広島県建築士会三原支部（株アマノ）	0848-20-2195
2／20	平成 24 年度 建築士定期講習（広島）	6	広島県建築士会	082-244-6830
2／22	丸のこ等取扱い作業従事者教育 in 福山 第 4 回	4	建災防広島県支部	082-228-8250
2／22	平成 24 年度 建築技術者のためのセミナー	2	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
2／24	第 4 回建築士が関わるもの・まち・くらしづくりフォーラム	3	広島県建築士会	082-244-6830
2／26	足場の組み立て等作業主任者能力向上教育 in 福山	7	建災防広島県支部	082-228-8250
2／27	新 総合工事業者のためのリスクアセスメント研修 第 3 回	7	建災防広島県支部	082-228-8250
2／28	講演会「直流配電の現状と普及への可能性」	2	電気設備学会	03-5805-3375
3／4	コンクリート調査の実践 - 意味のある調査とするために -	2	総合コンクリートサービス	042-558-6637
3／4	ひび割れなしを実践する！ - 効果的な実践法 -	3	総合コンクリートサービス	042-558-6637
3／6	すべての建築士のための総合研修	4	広島県建築士会	082-244-6830

指定確認検査機関
(中国地方整備局長指定第1号)

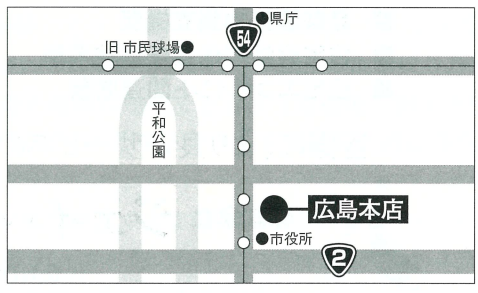
登録住宅性能評価機関
(中国地方整備局長登録第5号)

登録建築物調査機関
(中国地方整備局長登録第1号)



ハウスプラス中国住宅保証株式会社

〒 730-0042 広島市中区国泰寺町 1 丁目 3 番 32 号
TEL：082-545-5607(代表) FAX：082-545-5608



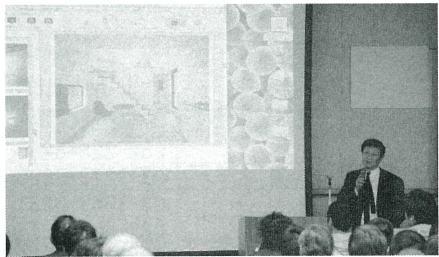
地域だより 第29回 呉建築セミナー

呉 呉地区支部 事業委員会 武内 盟子

昨年12月14日（金）、第29回呉建築セミナーが呉高専の視聴覚室で開催され、建築家・石田敏明先生をお招きして、『「集合体」のこれから―集まって住む―』というテーマでご講演いただきました。あいにくの雨にもかかわらず、呉高専や広工大の学生さんを含む160名以上の参加があり、会場は超満員。熱気があふれていました。

講演の中で、今回の「集まって住む」のテーマである、長屋や共同住宅の作品のいくつかを紹介していただきました。どの建物も、賃貸住宅でありながら同じ住戸パターンのものはなく、住まい手が個性的に住まうことができる、魅力的なものばかりでした。

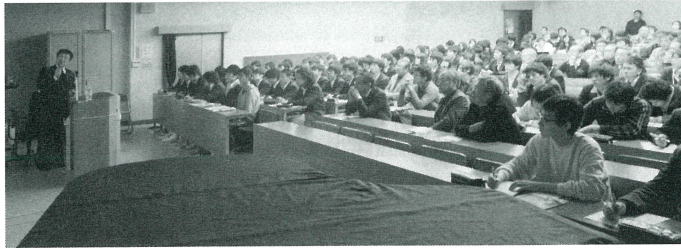
作品「Soil」（土・田園）では、玄関の扉を閉鎖的な開き戸ではなくガラスの引き戸にし、内部に広めの土間



をつくることで内と外が一体的となり、境目を感じさせない広がりを生み出しています。また各住戸は、単純ではない独立性のある繋がりとして接続され、その接続部分にできる入り込んだ空間は、まるで秘密基地のようなわくわく感を与えています。

女性をターゲットとしたネーミングの作品「taart」は、中央の階段をおいしいタルトのクリームに見立てた共同住宅で、階段を通して、隣家の気配を感じながら住まうことのできる住宅となっています。

これらの住まいはルールを決め、それを組み合わせて多様的にしてあるそうで、どの建物を見ても、「わたしもここに住んでみたい!」と感じました。共同住宅や長



屋に対する私のイメージとは、「長方形の住戸が一直線に規則的に並んだもの」でした。それだけに、先生の作品のような「平面的かつ断面的にも複雑に接続されたもの」は、とても新鮮です。

「設計で重要視することは?」という質問がありましたが、これには、「経営的に満足することと、不動産会社の条件をクリアすること」の2点であると答えられました。そのためには、「他の物件と差別化するために、普通とは異なる価値を持たせ、豊かな空間・環境をつくるのが重要である」。つまり、時を経て古くなったとしても、なお人を引きつける魅力、つまりは「わたしもここに住んでみたい!」と思わせる、価値のある集住体を設計することが最も重要であるとのことでした。

なるほど身近にも、新築のうちは満室でも、古くなると空き室が目立つ賃貸住宅があります。新しさにしか魅力がなければ、家賃を下げて入居してもらいしかなく、結果として経営が成り立たなくなります。こうした集合住宅のオーナーには、図面や模型を使って十分に説明した上で、理解してもらっているとのことでした。

個性的でありながら、建物が建つ地域の秩序を乱さず、繋がりを持って街になじんでいる先生の作品を、写真だけでなく実際に見てみたいと思います。

石田先生は私の大学の先輩に当たります。後輩としては、先生のご活躍がとても誇らしく、また心強いです。これからの若い後輩たちの期待の星として、さらなるご活躍を期待する次第です。願わくは、広島にも作品を造っていただきたいものです。

地域だより 讃岐の古建築研修視察

三原 三原支部 平川 英二

昨年12月16日、三原市歴史的建造物調査研究会と一緒に、香川県の「神谷神社」「丸亀城」「本山寺」の研修視察に行きました。



神谷神社

神谷神社の本殿は建保7年（1219年）の建物で、国宝に指定されていて、当初のまま現存する社殿としては最古の建物です。

丸亀城では、重要文化財の「大手一の門」「大手二の門」「丸

懐風亭」で昼食後、貞享5年（1688年）京極2代目藩主・高豊侯により築庭された中津万象園を散策。15,000坪の園内は、近江八景になぞらえて8つの島を配し、その島々を橋で結んだ回遊式の大名庭園です。



丸亀城



本山寺

亀城天守」の説明を詳しくしていただきました。

本山寺の本堂は正安2年（1300年）の建物で、国宝に指定されています。ここでは板壁と土壁の違いや、屋根葺き材の違い、縁の板を敷く方向の違いなど、神社とお寺の造り方の違いなどを見学しました。

今回は過去最高の参加者があり、参加者の意識は高く、講師の佐藤先生に多くの質問が出ました。天候も非常に良く、とても有意義な時間を過ごすことができました。

地域だより 第2回省エネ対策講習会 節水における最新住宅設備について

呉 呉地区支部 青年委員会 片岡 直哉

昨年11月16日（金）、省エネ対策講習会が開催されました。第2回目の今回は、『節水における最新住宅設備について』と題して、特に関心の高いトイレについて(株)LIXIL様に講義をしていただきました。



節水型トイレはここ数年、メーカー各社による節水競争が激化していて、10年前の10ℓ前後の排水量が、現在では4～5ℓとなっています。家

庭における水の使用量が1番多いトイレですが、節水という言葉だけが先行し、その節水の仕組みや内部構造まではなかなか教えていただく機会がないため、貴重な時間となりました。

(株)LIXILでは、4ℓと5ℓの便器をラインナップしていますが、汚物の搬送能力は同じだそうです。5ℓ便器は、内部金具の調整により8ℓの水量にも変更可能。新築やリフォームといった現場で使い分けができると感じました。ただ、これ以上の節水は搬送能力の面から限界に近いとのことで、今後は清掃性を追及して開発されとのことでした。

今回はトイレに絞って節水講義をしていただきましたが、キッチンや洗面化粧台、ユニットバスなどの節水化も、各メーカーが力を入れているということでした。

地域だより 技術講習会 「最新のリノベーション事例」について

広島 広島支部 技術研修委員 金子 孝之

昨年12月12日（水）、一般の方も交えて技術講習会を開催しました。今回は(株)LIXIL（リクシル）様に3つのテーマについての講演をお願いしました。

最初は「断熱材の事例発表」。リクシルの内張断熱材「ココエコ」についてです。真空断熱材「ココエコ」は、厚さ12mmで熱伝導率が0.028w/mkという優れもの。部屋に合わせて割付図を作り、プレカットされた製品で施工するので、現場での工期が短いのが特徴です。ただし壁専用ですので、床（フロアインプラスという製品があります）や開口部の断熱も合わせて検討する必要があります。値段はリーズナブルとは言えませんが、家全体というより部分断熱改修に向いているかもしれません。

続いて「トイレの事例発表」。超節水トイレ「ECO4」のコンセプト・事例についてです。大が4リットル、小が3.3リ

ットルの水でOKです。プースターで水にエネルギーを与え、勢いよく流す発想。トイレはどこまで進化するのでしょうか。

最後に「バスルームの事例発表」。マンション用リフォームバスルーム「リノビオV」のコンセプトと開発秘話についてです。マンション用リフォームは他のメーカーも同じですが、同じ空間をいかに広く使えるかにしを削ってきたようです。例えば1216を縦横ともワンサイズアップの大きさにできるのは今や常識ですが、それに加えて日ごろの清掃を簡単にしたり、溜まった髪の毛等を簡単に処理できるような機能、節水水栓、LED照明等、メーカーとして一つ一つを見直し、商品開発に余念がないようでした。

リノベーションは今後ますます盛んになるでしょうが、日々改良・開発されるメーカー側の情報にも触れながら、クライアントの要望に応えていきたいものです。

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

（既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入）

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 耐震診断判定業務

URL <http://www.jesupport.jp/>

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。

本社〒730-0029 広島市中区三川町7-1
SK広島ビル4F

TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190
e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京・札幌 営業所: 呉



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講